

# CO<sub>2</sub>削減に総力を挙げて 取り組むべきでは

## 避けては通れない問題、取り組みを進める



小池一夫 議員

**質問** CO<sub>2</sub>削減の取組状況と、問題点は。各課を超え、総力を挙げてとりくむ必要があると思うが、どうか。

**答弁** 庁舎の富士見町地球温暖化対策実行計画は策定中です。富士見町のエネルギー消費によって発生する二酸化炭素の排出量は、平成17年度で27万5484トンと推計しています。

町の部門別二酸化炭素排出量は、県、全国と比較すると、産業部門の割合が大きくなっています。家庭部門の一世帯当り二酸化炭素排出量は、年間4.1トンほどとなり、県と国の間の値となっています。

エネルギー源別に見ると、電力が約63%、灯油が約34%、LPGガスが約3%です。

独自に削減に取り組んでいる企業もありますので、広がりを期待していますし、各家庭でも積極的に取り組んでいただきたい。

削減に取り組む体制は、ISOである程度のものでできていますので、二酸化炭素削減に向けて、なお一層つとめていきたい。

この問題は避けて通れませんので、取り組みを進めます。

### ○その他の質問事項

- ・農業振興
- ・町のイベント

について

3月定例会、一般質問を傍聴された方からご感想・ご意見をいただきましたので、原文のまま紹介いたします。

○スリッパにはきかえるは面倒です。

他のフロアーは土足のKなのにごつして？

「ケンイ」を保つためですか？

ジユウタンを取るべきです。

○久々に傍聴する事が、時間のむだにならぬ様な一般質問が多かった。

今までのような質問では「出面払い」にする事が必要と思われていた。



質問席に立ち、質問する議員